

(別紙4(2))

事業所名: 認知症対応型共同生活介護事業所グループホームあおば邸

作成日: 平成 24 年 4 月 4 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	利用者の誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応について再度振り返り、一人一人の人格を尊重したケアの実践に取り組んで行くことに期待したい。	・一人一人の人格を尊重してケアの実践。	・ミーティングで議題として取り上げる。 ・勉強会にて言葉使い、プライバシー保護について計画し実施していく。 ・日々の生活の中、言葉使いがなれ合いにならないよう、ミーティング、勉強会で定期的に振り返る機会をもつ。	12ヶ月
2	26	介護計画を作成するうえで、担当者会議に利用者本人の参加も期待したい	・カンファレンスへの利用者参加	・全ての入居者がカンファレンスに参加できるように、本人やご家族に配慮。	1ヶ月
3	40	食事は暮らしの中の重要な部分であり、グループホームの異議を踏まえた家庭的な雰囲気も考慮しながら職員も同じ食卓を囲む工夫を期待したい。	・入居者と食卓を囲み食事を楽しむことができる。	・グループホームとしてどうあるべきかミーティングで議題に取り上げた。 ・3月より日勤職員は入居者と同じ時間、同じテーブルにて食事を楽しむことができている。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。